

平成7年夏季企画展

# 聖書の古代都市 イスラエル テル・ゼロール遺跡展

◆記念講演会◆

9月10日(日)/午後2時～4時(1時受付)1階ホール  
金関 恕(本館館長)「聖書の歴史を掘る」

●本館学芸員による展示解説

毎週日曜日と祝日/午前11時～/特別展示室

7月22日(土)～9月24日(日)

主催/大阪府立弥生文化博物館

後援/泉大津市教育委員会 和泉市教育委員会

 大阪府立弥生文化博物館

■開館時間:午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)■休館日:毎週月曜日(祝日はその翌日)

■入館料:大人＝一般400円・高大生300円、小中生・65歳以上は無料、団体＝一般320円・高大生240円(団体は20名以上)

■所在地:〒594 和泉市池上町443 ☎0725-46-2182■交通:JR阪和線天王寺駅から25分「信太山」駅下車徒歩7分、南海本線「松ノ浜」駅下車徒歩20分

聖書が語る歴史

●テル・ゼロール遺跡を望む

各時代の都市が積み重なり、丘のようにになっている。これを「遺跡丘(テル)」と呼ぶ。

●ガリラヤ湖

旧約聖書には、イスラエルの境、「キンネレテの海」として記されている。

テル・ゼロール遺跡の調査

テル・ゼロール遺跡はイスラエルの北部、シャロン平野という地域にあります。紀元前2000年ごろの中期青銅器時代に建設がはじまり、鉄器時代を経てローマ時代まで興亡を繰り返しながら存続した小さな都市です。

今回の企画展では、日本オリエント学会による発掘調査で出土した土器、金属器、貨幣、ガラス容器などを展示し、旧約聖書時代の歴史を探ります。

聖書に記されたさまざまな物語。その舞台は、ヨルダンとイスラエルを中心としたパレスチナ地方です。パレスチナでの考古学調査は、聖書に登場する都市を次々とつきとめ、諸民族の交流と古代都市の興亡の歴史を明らかにしてきました。聖書に描かれた世界が、われわれの目の前に姿を現してきているのです。



●発掘調査風景



●鉄器時代の墓

■主な展示物

- 青銅器時代、鉄器時代の生活容器
- 墓に納められた玉
- キプロスからもたらされた土器
- ローマ時代のガラス容器
- ◆出品総数 約200点を予定